

# 温故知新

日野町ゆかりの戦国大名であり、映画やドラマ、日本史の教科書などにも登場しながら、あまりその足跡が知られていない武将、長東正家を紹介いたします。

## 豊臣政権の内政面の

スペシャリストとして

長東正家は、近江(滋賀県)あるいは尾張(愛知県西部)出身とされる武将で、初めは丹羽長秀に仕え、のちに豊臣秀吉の家臣となり、俗に五奉行と言われる重臣の一人に数えられた人物です。豊臣家臣団の中では、特に内政面の能力に秀でていました。

例えば、蒲生氏郷が功績をあげたことで知られる天正一五(一五八七)年の九州攻めでの兵糧米の輸送や、荒廃した博多の町の復興にあたる奉行の一人としてその名が記録に残ります。

さらに天正一八(一五九〇)年の北条氏攻めでは、二〇万石もの兵糧米を

近江日野商人館(大窪)、近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」(西大路)の開館時間は、午前9時から午後4時まで、休館日は毎週月・火曜日、祝日の翌日、年末年始になります。入館料は、大人個人三〇〇円、大人団体(三〇名から)二五〇円、小・中学生一二〇円です。ぜひご来館ください。

駿河(静岡県中・北東部)に集めただけでなく、現地でも三万石を買い占めるなど、北条氏に対して経済的な圧力をかけています。軍記物には、石田三成の副将として忍城攻撃に参加したことが記されています。しかし、当時の記録には、秀吉の右筆(書記官)として活躍する一方、兵糧米の受取りや、軍勢の通行証の発給といった現地での事務処理をこなす様子が記されており、合戦での功績は残っていません。また、近江国での検地を担当するなど、武将というよりは、内政全般にわたり活躍する行政官としての姿がうかがえます。

文禄元(二五九二)年以後は、秀吉の「唐入り」(朝鮮出兵)に従って肥前名護屋に駐屯し、石田三成らとともに内政処理に当たっています。さらに、文禄三(二五九四)年には伏見城の普請、文禄四(二五九五)年には大和国(奈良県)の検地など、やはり国内の内政全

般に尽力したのです。そしてこれらが評価され、同年、近江国水口五万石を拝領したとされます。その後も、慶長二(二五九七)年近江西上坂村の掟書の制定や伏見城の樋の築造に使用する竹の徴収、豊臣家直轄領の管理、慶長の役における兵糧・弾薬の管理などを行いつつ、越前検地の総奉行を務めるなど、行政官としての功績を重ねていきました。慶長三(二五九八)年の秀吉死後は、伏見城の留守居役として、徳川家康を補佐する一方、年貢米の管理などを行っています。

## 石田三成襲撃事件

慶長四(一五九九)年、前田利家が死去した翌日、徳川家康と親しい加藤清正や黒田長政らによる石田三成襲撃事件が起きました。この時正家は、事態の鎮静化に貢献しており、豊臣政権の末期においては、単なる行政官としてだけ

ではなく、政権全体に大きく影響する立場であったことがわかります。

## 正家の死

慶長五(一五九九)年七月、石田三成が挙兵すると、正家は徳川方の伊勢松坂城、安濃津城を攻略しました。続いて関ヶ原合戦に参戦しますが、妨害により参戦することなく水口岡山城に撤退したのです。しかしその後、城は徳川方の攻撃を受け開城、正家は再起を図って、一部が所領であった日野に逃走しますが、九月二十八日(諸説あり)に中之郷の中西孫左衛門宅で自刃したと伝えられます。のちに墓は安乗寺境内に移され、現在も墓と伝えられる石組が残っているほか、供養塚が立てられており、悲運の武将を偲ぶことができます。



▲安乗寺(中之郷)

# 日野町町民大学講座のお知らせ

自らの教養を深め視野を広げ、より一層充実した心豊かで生きがいのある生活を送るための学習となるよう下記の日程で日野町町民大学講座を開講しています。  
各開講日の前日までに申し込みいただければ参加可能ですので、皆さんぜひご参加ください。

第2回 **8月31日(水) 19:30~21:00**  
日野公民館ホール

演題 ● 「がんについてのい・ろ・は」  
～がんにならないために がんで苦しまないために～  
講師 ● 沖野 孝<sup>みきの たかし</sup>さん(公立甲賀病院医院長代行)



高齢化が進む現在の日本で、がんは死亡原因の第1位です。医療の進歩のおかげで、がんはもはや不治の病ではなくなりつつありますが、「早期発見」「早期治療」が何よりも大切です。がんの原因や予防法、検診について、科学的根拠にもとづいた最新の知識を学びましょう。

	とき	ところ	講師	演題
第3回	9月30日(金) 19:30~21:00	日野公民館	中桐 万里子さん 二宮金次郎七代目子孫	「七代目が語る二宮金次郎」
第4回	10月22日(土) 14:00~15:30	日野公民館	山本 昌仁さん たねやグループCEO	「近江商人の魂を引き継ぎ革新に挑み続ける」
第5回	12月17日(土) 14:00~15:30	日野公民館	望月 聡さん びわこ成蹊スポーツ大学教授	「なでしこジャパンから学ぶ」

講座受講料は1講座1,000円です。(3回以上受講される場合は3,000円が上限となります)  
第3回以降の講座の詳細内容は、各月の広報ひのをご覧ください。

問い合わせ先 ◆ 日野町立中央公民館(生涯学習課内) ☎0748-52-6566

## がんシリーズ① “がん”も予防できることを知っていますか？

5つの健康習慣を実践することでがんになるリスクが低くなります



**禁煙**  
しましょう

【たばこの煙の害】  
発がん性化学物質が60種類

たばこの煙の通り道である『喉』『気管支』『肺』などの呼吸器系の臓器と、血液に乗って運ばれると『あらゆる臓器』に影響します。



**節酒**  
しましょう

飲酒は、発がん物質が体内に取り込まれやすくなるため、適量を超えていると、がんになるリスクが高くなります

『適量の目安(1日)』日本酒(1合)／ビール大瓶(1本)／焼酎(原液1合の2/3)／ウイスキー・ブランデー(ダブル1杯)／ワイン(ボトル1/3程度)



**食生活**  
を見直しましょう

【野菜・果物の効果】体内で発がん物質を解毒する酵素が活性化されます  
【塩分の影響】胃粘膜を保護する粘液を破壊し、ピロリ菌の持続感染を引き起こします

『1日、野菜350g+果物50g』  
『減塩!』・男性1日あたり8g未満  
・女性1日あたり7g未満



**身体を動か**しましょう

【運動の効果】

- 身体を動かすことで肥満の解消
- インスリンの働きが弱まりを改善
- 免疫機能が増強
- 有害物質の腸内通過時間が短縮

『週2回の運動習慣』<sup>プラス</sup>『今より+10分運動』



**適正体重**を維持しましょう

【肥満の害】脂肪組織から出る女性ホルモン、インスリン抵抗性による高インスリン血症(インスリンの働きが弱まることで減少したインスリンを補うために大量のインスリンが出ること)、胃酸の逆流によりがんリスクが高くなります

『BMI=(体重kg)÷(身長m×身長m)』

健康全体のことを考えると●男性(21~27)●女性(21~25)が望ましい

問い合わせ先 ◆ 保健センター ☎0748-52-6574